



「ふるさと秋田」の“元気”創造

秋田県知事 佐竹 敬久

我が国がかつて経験したことのない厳しい社会情勢にあつて、地方が新たな発展の一步を踏み出すためには、本当の意味で自立しなければならぬ時期に来ております。

一方で、地球規模での環境意識の高まり、中国やロシアなどの新興国の経済発展、食料需給の逼迫など、新たな時代潮流が姿を現しつつあります。

本県では、こうした局面を秋田の将来を左右する転換期ととらえ、国内外の社会経済情勢の変化や秋田の可能性・強みを客観的に分析した上で、将来の秋田を支える四つの元気を創造することを目指し、今後四年間に重点的に取り組むべき施策等を取りまとめた「ふるさと秋田元気創造プラン」を策定いたしました。

ふるさと秋田元気創造プラン

元気A 新たな戦略産業を創出する

低炭素型社会への移行が進む中で、新エネルギー産業は大きな成長が見込まれる分野です。産学官連携による「産業戦略」を策定し、エネルギー供給モデルの構築、次世代自動車の走行実証試験の誘致促進など、新エネルギー関連産業を、本県のリーディング産業として育てるための取組みを進めます。

また、地理的優位性を生かした環日本海諸国との交流、さらには東アジアとの交流によるビジネスチャンスの拡大を図り、貿易を振興します。

元気B 秋田の食・農・観を丸ごと売り出す

ブランド力の高い県オリジナル品種の生産拡大、産地情報をマーケットにダイレクトに伝える仕組みづくりなど、マーケットや消費者の視点に立った生産・流通・販売

体制を構築します。

また、食と農、観光のそれぞれのパワーアップを図りながら、「農・商・工・観」のネットワークの構築や、具体の連携ビジネスの展開を推進します。

さらに、食、自然、文化や物産、観光、秋田の美や教育力等のプラス面を積極的に取り上げることにより、秋田のブランドイメージを形成し、国内外に秋田を丸ごと売り出す「セル・アキタ」を推進します。

元気C 県民が一丸となって「脱少子化秋田」を果たす

本県の基本課題の一つである少子化の克服に向け、総合的な少子化対策に本格的に取り組めます。

県民運動の展開や、市町村による対策を支援する包括交付金、県民が民間の少子化対策を応援するファンドなどにより、官民協働による脱少子化秋田に向けた協働体制づくりを進めます。

また、「あきた結婚支援センター」の設置、結婚サポートの養成などにより、若者の出会いと結婚を支援し、夢を持ち家庭を築ける環境づくりを進めます。

さらに、専任の「少子化対策局」を設置し、若者が誇りを持って定着できる環境づくり、安心とゆとりを持って子育てを樂しめる環境づくりなど、年間の出生数八千人を目指して総合的な少子化対策に取り組めます。

元気D 高齢化社会に対応した「安心医療 秋田」協働社会秋田をつくる

・安心医療秋田

がんによる死亡率の改善を目指し、がん検診の受診率の向上、質の高いがん医療体制の提供、緩和ケアの充実などを推進します。

また、自殺による死亡率の改善を目指し、総合的な自殺予防対策を推進します。

医療提供体制については、身近な医療から専門的な医療の確保まで、医師の県内定着や地域偏在の解消を図るとともに、県民ニーズに対応した医療提供体制の整備を進めます。

協働社会秋田

県民による地域活動への参加促進、県と市町村の協働の推進、コミュニティ・ビジネスなど新たなビジネスモデルの展開による地域活力の創造など、NPO、企業、行政など多様な主体が地域づくりに取り組み、地域の再生、活性化を図るための仕組みづくりを進めます。

以上が新たなプランで取り組む四つの柱であり、そのスタート年度である今年度は、本県が有する人材、資源などを結集して、各施策・事業から多くの元気が生まれるよう取り組んでまいります。

さらに、このプランに加えて、今年度は、スポーツ・教育・文化振興による活性化、機能合体による市町村との連携協働体制の強化、喫緊の課題である経済・雇用対策、産業・生活両面の社会資本整備などについても重点的に推進してまいります。

秋田は、秋田であればこそ、経済や環境、文化、コミュニティ、安全・安心など、全体としての幸福感「グロス・ハピネス」の高い地域を実現していくことができると信じています。そのためにも、「ふるさと秋田元気創造プラン」に沿って、県民が誇りを持って、それぞれの夢をかたちにできる「ふるさと秋田」の再生・飛躍に向け、全力で取組みを進めてまいります。